

子育てサポート企業として認定 株式会社 インターナカツ

●認定通知書交付式を開催

高知労働局(局長 櫻井 恵治)では、高知県が全国に先駆けて少子・高齢化が進行していることから、企業による次世代育成支援対策の推進を図っているところです。

この度、次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づき、株式会社インターナカツを子育てサポート企業として認定(くるみんマーク認定)し、

平成25年6月18日に(株)高南メディカル、(株)ウイルとの3社合同の基準適合一般事業主認定通知書交付式を開催いたしました。

この認定により、高知労働局管内における認定企業は6社となりました。

認定企業名

株式会社 インターナカツ
[従業員数] 221人



次世代認定マーク
(愛称:くるみん)

●3社との懇談会

交付式の終了後には、当局の櫻井局長と桑原雇用均等室長と、3社代表者との懇談会を行いました。

懇談会では、「会社を支えている従業員の家庭が安定して初めて会社が安定する。」「男性の育児休業取得は難しかったが、周知・勧奨し取得者が出た。」「将来を考えて仕事と育児の両立支援に取り組まなければならない。」など、高い意識で子育てサポートに取り組む企業トップの活発な意見交換が行われました。

株式会社 インターナカツ の取組内容

1 計画期間 平成23年4月1日～平成25年3月31日

2 行動計画の目標

①子どもが生まれる際の父親の特別休暇取得の促進を図る。

<対策> 父親の休暇を取得しやすくするため就業規則を改定し、各セクションごとに社員に文書で通知するとともに、責任者より朝礼で説明し周知を図る。

②年次有給休暇の取得日数を1人当たり平均年4日以上とする。

<対策> 各セクションごとに年次有給休暇の取得促進計画を立て取得促進を図る。

3 取組の結果

①計画期間内に3人の男性従業員が父親の特別休暇を取得した。

②平成22年度は2,969日であった平均取得日数が、平成23年度は4,615日、平成24年度は5,070日となり目標を達成した。

4 その他

結婚や出産・子育て等による退職者が再入社しやすい制度を導入した。

5 期間内の育児休業取得者数

男性1人、女性1人

6 くるみんマーク認定を目指した理由

店舗の営業時間が午前11時～午後10時であり、仕事と育児の両立が難しいことを理由に退職する女性社員が多い。そのため、次世代育成支援対策を充実させることにより従業員の定着を図り、優秀な人材を確保することを目的として認定を目指した。

7 男性の育児休業取得のために工夫した点

店長会で、短期間でも育児休業を取得することが可能であることを説明し、対象となる従業員に育児休業取得を勧奨した。